



～枕崎市教育委員会だより～

TEAMまくらざき

発行 枕崎市教育委員会
枕崎市中央町184番地
TEL 0993-72-0170
FAX 0993-72-0677

巻頭言

大雨が降ると思い出す

枕崎市教育委員会 教育長 木之下 浩一

6月後半は、枕崎市にも線状降水帯が発生し、「警戒レベル4」の「避難指示」が出されるほどだった。各学校では、子供たちへの注意喚起や始業・終業を調整し、安全を確保するなど臨機応変にその対応に努めた。

今後とも大規模な水害のリスクがあるとの報道を見聞きすると31年前の「8・6水害」のことが思い出される。平成5年8月6日、九州南部付近に停滞していた前線の活動が活発となり、県内は記録的大雨に見舞われた。この日の降水量は、鹿児島市で259mmに達し、市内中心部を流れる甲突川、新川、稲荷川が相次いで氾濫し、天文館や現在の鹿児島中央駅一帯が広範囲で浸水したほか、江戸時代から甲突川に架かる五つの石橋のうち、武之橋と新上橋が流失した。また、日豊本線の竜ヶ水駅付近では、日豊本線と国道10号線に沿って伸びるシラス台地の錦江湾に面する崖が広範囲にわたり断続的に崩壊し、通行中の車やJRの列車に乗っていた人々など約3000人が孤立し、夜を徹して海上からの救助活動が行われた。この豪雨により、本県で48人が死亡し、損壊・浸水家屋は14,000棟を超える大きな被害が出た。

当時、種子島の中学校に勤務していた私は、8月1日に旧始良町の「桜島パークグエリア」裏手の山が崩落している様子をニュースで見た。(※「8・6水害」の前に8月1日、現在の始良市・霧島市を襲った集中豪雨があった。)一瞬、他県での出来事かと勘違いするほど、日常の光景とは全く違う鹿児島の様子に驚いた。その後、お盆で帰省した際、鹿児島空港には時間どおりに到着したものの、そこからの道のりが長かった。空港バスに乗り込み、出発を待っていると、車内放送で「高速道路が通行止めのため、迂回をして運行しますのでご了承ください」との案内があった。途中の道路も豪雨の影響があったのだと思い、鹿児島市のバスセンターまで時間がかかることを覚悟した。空港を出発したバスは、遠回りをしながら蒲生経由で吉田を通り、鹿児島市に入った。乗車してから降りるまで立ったまま、約3時間バスに乗っていたことを覚えている。途中、沿道には埃が舞い、被災した家庭では、豪雨後の片付けをしていた。崩落箇所や道路の復旧を急ぐ工事関係者は、炎天下の中、慌ただしく重機を動かし、作業をしていた。市内に入ると、見慣れていた施設が骨組みだけを残して何も無くなっていたり、家庭のお風呂が使えなくなったためか、温泉施設の周りには車が溢れ、渋滞したりするなど、これまでの日常とは大きく変わっている様子に驚いた。改めて、豪雨の凄まじさを感じた瞬間だった。その後、数年かけて豪雨災害のあった河川では治水工事が、崩れた崖には治山工事が施された。約30年経過した今、私たちは、この水害の教訓を後世に継承するとともに日頃から避難経路を確認するなど予見しにくい豪雨災害に備える必要がある。

梅雨が明けたら、いよいよ子供たちが楽しみにしている夏休みがやってくる。7月は、1学期の締めくくりと夏休みを計画的に過ごす準備の時期となる。今年も楽しい夏休みとなるように、安全面についてもご家庭で事前に話題にしてほしい。

7月の行事予定		
日	曜	行事
1	月	学校訪問(立神小)・図書館休館日
2	火	
3	水	市校長研修会(県立鹿児島水産高校) 学校給食センター運営委員会①
4	木	市養護教諭研修会 市文化財保護審議会・市子連理事會② かつお釣り体験アドベンチャー参加者選考委員会
5	金	市中学校弁論大会
6	土	市公運運営研究会・県知事選挙会場準備
7	日	県知事選挙
8	月	学校訪問(別府中)・図書館休館日
9	火	県市町村教育長会第1回専門部会(鹿市教総セ) 市回画作品審査会
10	水	公立高校募集説明会及び第2回南薩地区教育長会・地区館連絡会 社会教育主事等研修会・人権教育指導者研修会(県民交流センター)
11	木	県下19市教育長・総務課長会(南九州市) 県PTA大会実行委員会②
12	金	県就学相談・支援担当者研究協議会(教セ) かつお釣り体験アドベンチャー研修会①
13	土	土曜授業
14	日	「鹿児島県の未来を担う青少年の志を育む事業」 結団式(霧島ふれあいセンター他～15日) 県民スポーツ大会南薩地区大会
15	月	海の日・環境美化活動
16	火	図書館休館日
17	水	少年野球大会抽選・監督会議
18	木	1学期給食終了
19	金	小・中学校1学期終業式 市民あいさつ運動・水難事故防止運動
20	土	夏季休業(～8/31)・青少年育成の日
21	日	家庭の日・市民会館休館日 「書家 金澤翔子展～共に生きる～」～9/8(南深館)
22	月	かつお釣り体験アドベンチャー研修会② 図書館休館日・カッター教室(～8/2) パワーアップ研修:小(総合教育センター)
23	火	地区栄養教諭研修会(南九州市立学校給食センター)
24	水	地区学校給食センター連絡協議会夏季研修会(南さつま市)
25	木	館内整理日(図書館)・かつお釣り体験アドベンチャー本研修・特別支援教育支援員研修会(県民交流センター)
26	金	少年野球大会準備・地区小・中・義務教育学校長研修会(枕崎市民会館)・県学校給食センター連絡協議会・総会(自治会館)
27	土	少年野球大会(1日目)
28	日	少年野球大会(2日目)・青少年ふるさと美化活動
29	月	図書館休館日・少年野球大会予備日 パワーアップ研修:中(総合教育センター)
30	火	授業力ブラッシュアップセミナー・市教育講演会・実践発表会・市教科部会・学校図書館「幼稚園・小学校」講座(県立図書館)
31	水	夏の就学相談会①・いじめ問題対策連絡協議会・市フレッシュ研修(社会教育関係)

教育支援センター

本市では、枕崎市内の小・中学校に在籍し、不登校の状況にある子供たちの基礎学力の補充や保護者からの教育相談を受け付けることを目的に、教育支援センターを市立図書館3階に設置し、4月26日から運用を開始しました。



教育支援センターの様子

通級を希望する児童生徒と保護者、学校と教育支援センターで十分な話し合いを行った上で、それぞれのペースで通級を始めています。今後は、通級する児童生徒への学習活動や体験活動を充実させていくとともに、不登校児童生徒の保護者の不安や悩みに寄り添った対応が行えるように定期的な相談を実施するなど、教育支援センターが本市の不登校対策の拠点となって、児童生徒や保護者に必要な支援を行いたいと考えています。

夏休みの過ごし方について

夏休みをはじめ、長期休業中の過ごし方については、子供たちの健全育成や事故防止の観点から、本市の校外生活指導連絡会における申合せ事項を設けています。特に、以下のことに留意してください。

- ① 午後6時には、帰宅完了。
※ 夜間に児童生徒が参加する歓送迎会やその他集会については保護者同伴とし、午後10時には帰宅完了できる時間で終了する。
- ② 午後9時には、インターネット環境機器の使用終了。
- ③ 自転車に乗る際は、ヘルメットを必ず着用。
- ④ スケートボードやキックボード等は、公共の場所や行動での使用を禁止。

登下校の安全について

梅雨に入り、子供たちは雨の中を傘を差したり、雨合羽を着たりして、安全に登下校をしています。先日は、登校時間に大雨が降り、登校時間を遅らせるなど、各小中学校で連携した対応がとられています。また、各学校では、年度初めに、関係機関等と連携した交通安全教室が実施されています。そこでは、道路の正しい横断の仕方や、自転車の安全な乗り方について、児童生徒の実態に応じた指導が行われています。今後も、学校、家庭、地域が連携して、子供たちの安全を見守っていきましょう。



登校の様子

家庭での過ごし方アンケート(1学期)

1学期の子供たちの家庭での生活の様子はどうでしょうか。

枕崎市教育委員会生涯学習課では、毎年7月と12月の2回「家庭での過ごし方アンケート調査」を実施しています。

枕崎市では、「40・60・90・120 運動」と「ノーメディア・メディアコントロール」という2つの取組を推進しています。これらの取組は、24時間という限られた時間を有効に活用し、子供たちが充実した毎日を過ごすことができるようにするためのものです。この機会に、1学期の取組を親子でぜひ振り返ってみてください。

配布したアンケート

中生連常任委員会・顧問会

6月5日(水)に、桜山中学校で第1回中学校生徒連盟常任委員会・顧問会が開催されました。会の中では、今年度の中生連の年間行事や7月に計画されている中学校弁論大会の進め方について協議を行いました。また、その他に稚内市との交流についても自由に意見を出し合いました。

この中生連は、市内4中学校間の親睦を深めることを目的として結成された組織です。それぞれの学校が密に連携し合い、お互いに活発な情報交換を行いながら、充実した生徒会活動が進められていくことを願っています。



中生連の様子